



ならし社協だより

第52号

APRIL 2022

令和4年4月1日発行



地区社協サポーター座談会にて

社協会員募集中!

(※詳細は7頁参照)



目次 (ページ)

- 02 地区社協サポーター養成事業のご報告
～1期生のサポーターさんたちと振り返る～
- 03 こども食堂を応援する新たな地域のつながり
- 04 地域で光る!
食を通じた地域貢献「田原ふる里ほっとステーション」
- 05 福祉ホットライン NPO 法人「無戸籍の人を支援する会」
- 06 あなたも手話を学んでみませんか?
- 07 令和4年度ボランティア保険のご案内
赤い羽根共同募金お礼・令和4年度社協会員募集
- 08 しあわせシカ探偵の「ほっと一息」
～あるヘルパーさんからの報告～

地区社協サポーター養成事業のご報告

～ 1期生のサポーターさんたちと
振り返る～

**知れば知るほどおもしろい！
福祉ってこんなに幅広いんだ！**



地区社協サポーター養成事業とは、慢性的な担い手不足の課題を抱える地区社会福祉協議会（地区社協）の人材確保をねらいとした令和3年度からの本会の新規事業です。地区社協からの推薦を受けたサポーターが、本会職員と行動を共にし、相談支援や地域支援の実践について理解を深めてもらうことで、その後の地域活動に活かしてもらうことを期待しています。

10月から地区社協サポーターとして活動中の
貝本さん（大宮地区社協）、和田さん（伏見南
地区社協）、廣瀬さん（平城西地区社協）にお
話をお聞きしました。

**Q. 地区社協サポーターとして活動されてから
3ヶ月が経ちましたが、印象に残っている
ことはなんですか？**

貝本：ひきこもり支援が印象に残っています。

特にひきこもりの親の会に参加して、悩みの深さに触れました。

廣瀬：認知症の方の支援では、日常生活に必要なお金の管理を一緒にしました。

複雑な手続きなども支援者と一緒なら安心だと感じました。

Q. 今後は、どのような活動に参加したいですか？

和田：まだ参加していない活動について知りたいです。例えば、地域活動は、各地区のカラーがあり活動内容も地区独自の特徴があると感じました。今までは、自分の地区のことしか知らなかったけど、他の地区の人との出会いがあり、一緒に活動しているうちに気付けば仲良くなっています。

Q. 地区社協サポーターでの経験は、今後どのようなことに活かせると思いますか？

廣瀬：市社協の事業について理解できたので、地域での困りごとがあったら、あの人に聞いてみようと思えるようになりました。市社協から専門職へのネットワークもあるのだと分かり相談しやすくなりました。

Q. 最後に、2期生の地区社協サポーターさんへ、メッセージをお願いします。

貝本：地区社協サポーターとして活動する中で、たくさんの人との出会いがありました。市社協のみなさん、ボランティア団体のみなさん、どんなことでも親切に教えてください。知れば知るほど、福祉ってこんなに幅広いんだ！と実感している毎日です。

和田：多くの活動に参加して社会福祉に対する熱い想いに触れる機会がありました。私自身、地区社協での活動に取り組む上で良い刺激になりました。とても実りの多い経験になると思うので、ぜひ多くの人に参加してもらいたいです。



貝本さん



和田さん



廣瀬さん

地域福祉活動に関心のある方！

1期生のみなさんのように、幅広い福祉をのぞきにきませんか。本事業への参加には地区社協からの推薦が必要です。生活支援コーディネーターまでお問い合わせください。
（連絡先：4ページに記載）



地区社協サポーターさん
続々増加中！

こども食堂を応援する新たな地域のつながり

こども食堂の活動を応援する飛鳥地区のネットワークの動きについて紹介します。



子どもとの“つながり”を切らないために

飛鳥公民館を拠点とする2つのこども食堂では、コロナ禍において会食形式にかわり配食形式での活動を続けていました。しかし、弁当を受け取るときに親のみの場合も多く、子どもたちと直接会う機会が減っているという悩みがありました。

そこで、飛鳥地区社会福祉協議会(以下、地区社協)を中心に、こども食堂の運営者をはじめ関わっている地域の方、そして公民館や生活支援コーディネーター(以下、コーディネーター)など関係機関も交えて、こども食堂は食事だけではなく、参加者が地域や社会とつながれる大事な居場所であることや、運営者にとっても子どもたちが成長する姿が活動の支えになっており、会食形式をできる会場はないか探すことになりました。

新たな会場の支援者とのつながり

地域の皆さんとともに地域の特性も踏まえ、公共施設のみでなく寺院も視野に入れて会場を探す中で、「十輪院」が会場提供していただけることになりました。十輪院では、以前から「寺子屋おやつくらぶ」という子どもの居場所づくりをされており、住職がこども食堂の思いに共感されたことがきっかけとなりました。

そして、昨年10月に人数制限や感染対策をして厳かな雰囲気の中、こども食堂を再開することができました。久しぶりに会った子どもたちに、あるボランティアが「おっちゃんの顔覚えてる？」と声をかけると「覚えてるよ。」と話す様子に、こども食堂がずっと子どもたちにとって大切なつながりの場であったことをあらためて実感しました。



十輪院でのあすかのゆびとまれこども食堂の様子



十輪院
橋本住職

以前から、「あすかのゆびとまれこども食堂」のことをホームページでも拝見し関心をもっていました。そのため、相談に来られた際に何だか深い縁を感じて、お寺が最後の砦にならねばとの思いもあり、場所を提供いたしました。

私もお寺の会場で月2回子どもたちがおやつを食べて、風船やDVD鑑賞など自由に遊ぶ居場所活動をしています。今回こども食堂に関わり、気兼ねなく集える場の必要性や、活動を継続することの大切さをあらためて感じています。

今後も、このご縁を大切に会場提供等いろんなかたちで協力していければと思います。

新たなボランティア活動団体とのつながり

十輪院の橋本住職との出会いを機に、若者の奉仕活動団体である「奈良レオクラブ(以下、レオクラブ)」を、「ルッフこども食堂」に紹介していただき、こども食堂の活動に関心をもつあらたなボランティアとつなげることができました。

子どもたちと年齢の近いお姉さんやお兄さんとの交流が生まれ、こども食堂でのレクリエーションが楽しみの一つになりました。



「ルッフこども食堂」でフードパントリー用のお米を分けるレオクラブの皆さん

レオクラブは13～30歳位のメンバーが所属地域を中心にボランティアやリーダーシップ性を養うことを目的に活動をしています。

最初は子どもたちも慣れず、私たちもどう話そうか考えていましたが、コースター作りを通じて打ち解けることができました。今回の活動によりまず子どもたちが楽しいと思ってくれることが大事で、それをきっかけにコミュニケーションが深まりつながりができることを学びました。

今後もこども食堂をはじめボランティア活動を通じて、奈良を盛り上げていく取り組みをおこなっていきたいと考えています。

生活支援コーディネーターより

こども食堂の運営者の思いをきっかけに、さまざまな地域の活動者や関係機関で何ができるのか知恵を出して動いたとき、さらにその思いに共感し、応援してくれるあらたな支援者へとつなげることができました。

皆さんも、自分の地域を見渡してみたら、活動の思いを共感してくれる“新たなつながり”があるかもしれません。コーディネーターと一緒にあなたの活動の思いをつなげていくお手伝いをします。



地域で光る！

食を通した地域貢献 「田原ふる里ほっとステーション」

～生きがい活動が地域住民の支え合いに！～



田原で生まれ育ち自身も野菜作りをしながら「田原ふる里ほっとステーション」で活躍されている代表の榎崎さんにお話をお伺いしました！

地域交流の拠点をめざした活動がスタート！

奈良市東部の山間に位置する田原地域は、少子高齢化等による生活の利便性や住民の支え合いの低下が懸念されています。この課題に地域を挙げて取組み、地域の活性化を図るための協議が平成17年に行われました。その協議をもとに「地域の農産物の振興と地域のPR」を目的に、平成20年に地域の産直市場として「田原ふる里ほっとステーション」がオープンしました。その後、市場野菜等を食材に使ったお弁当を販売し地元産品のPRを行うことや、調理困難な地域の高齢者にお弁当を届けて“食を通した地域貢献がしたい”という声が上がってきました。そこで平成28年に「ふる里ほっとステーション」に併設して「田原やま里弁当」を開設し地域交流の拠点をめざした活動がスタートしました。



地野菜を多く使った“田原やま里弁当”

住民の楽しみや生きがい活動が、そのまま地域貢献に！

農業が盛んな田原地域では、野菜作りが高齢者の楽しみであり、生きがいや健康づくりに多いに役立っています。市場に登録する生産者は40名弱で、お弁当屋では地域の有償ボランティアが活躍されています。スタッフの榎崎さんは、「野菜の生産者にとっては、市場にて野菜の収益が少しでもあることと、お弁当に使われ地域住民に喜ばれていることが、一層野菜作りの意欲向上につながっています」と語ってくださいました。お弁当は地域内であれば1個でも配達され、買い物や調理が出来ない高齢者への支援や交流の機会となっており、支え合いのネットワークづくりにつながる取組みとして令和3年度の「奈良介護大賞」に選ばれました。さらに万年青年クラブによる高齢者へのみまもり活動の際にも、「田原やま里弁当」が届けられています。



やま里弁当のスタッフと
榎崎さん(左から2番目)

榎崎さんは「スタッフによる運営会議を行い多くの人の意見を聞くように努め、市街地への市場産品の出張販売を行うなど試行錯誤を重ねたことで、地域内外での認知度も高まってきました。今後も様々な催しに協力し社会的な役割に意義を見出したい」と語ってくださいました。

地域の各種団体と協働して支援 ～生活支援コーディネーターより～

コロナ禍の影響で、田原地域においても住民行事の多くが自粛を余儀なくされている中、住民のつながり活動の再開を心待ちにする声も聞かれます。地域活動を担う田原地区社会福祉協議会と「田原ふる里ほっとステーション」や、地域包括支援センターと共に住民のつながりを再開するきっかけ作りについて協議を行いました。その中で、産直市場の屋外にて地域食材を活用した「食を通した地域のつながり事業」を地域の各種団体協働により企画、開催しました。本会では、今後も住民の主体的な生きがい活動が、地域住民の支え合いとなるような取組みを地域の各種団体と協働し支援してまいります。



産直市場とやま里弁当売場外観

お問合せ

生活支援コーディネーター

奈良市東エリア ☎ 0742-93-3294

西エリア ☎ 0742-93-3741

福祉ホットライン

このコーナーでは、奈良を住みよいまちにするために日々活動する団体等を紹介しています。

今回は、奈良市を拠点に全国各地の無戸籍の方を支援しているNPO法人「無戸籍の人を支援する会」を紹介します。

NPO法人「無戸籍の人を支援する会」

無戸籍の人を支援する活動が市内で行われていることをご存知ですか？

昨年よりメディア出演が増えており、「テレビで知った」という人も増えてきています。

無戸籍問題と活動の様子について、代表の市川真由美さんにお話を伺いました。

「無戸籍って何？」 戸籍とは、人が生まれてから亡くなるまでの親族関係等を公的に証明するものですが、何らかの理由により出生届が提出されなかったために戸籍が無いことをいいます。

戸籍が無いと、自分自身を証明するものが無いため、日常生活で様々な不便を強いられ、生きていく上での選択肢も狭められてしまうことになります。具体的には行政からの情報が届かないため学校に行かないことになる、就職が困難になる、車の免許が取れない、保険証が作れないため医療費が高く通院できない等のことがあります。

NPO法人「無戸籍の人を支援する会」は、約5年前から活動を始め、戸籍取得希望者の手続きや戸籍取得後の社会生活支援、または無戸籍のままでも生活できるように手続きをするなど、全国から届くSOSに寄り添い、各地で伴走支援をされています。

令和2年10月に大阪府である高齢女性が自宅で餓死するという痛ましい事件が発生しました。その女性が“無戸籍者”だったことから、この事件以降、社会の“無戸籍問題”への関心が高まり、取材や講演の依頼が増えています。



市川さんと一緒に戸籍取得手続きをする様子

<市川さんよりメッセージ>

私がこの活動を始めたのは、運営する会社のアルバイト職員に戸籍が無いことが分かり、一緒に戸籍取得に向けて行動したことがきっかけでした。市役所や法務局等へ繰り返し訪問し、出生した病院や学校などを訪ね歩きました。戸籍取得に至るまで実に1年8ヵ月もかかりました。

戸籍を取得するまでの道のりは長く険しいものです。無戸籍の人は戸籍が無いことで社会的に孤立し、誰にも相談できずに夢をあきらめたり、希望をなくしてしまいます。そのような状況を見て見ぬふりはできないと思い、この団体を立ち上げました。

支援を始めて5年の伴走支援で、戸籍の無い人の生きづらさを知りました。その人の状況・感情・立場・生活・夢・希望などいろいろなことを教えられます。それを知ったら知らん顔はできません。私の存在が人の命やその人の人生を守る役目を果たすのであれば、精一杯の努力を惜しまないことが私自身をも大切になることになると思い、これからも活動を続けていきます。

令和4年1月29日に三笠公民館の主催講座での講演がありました。

当日は民生委員さんをはじめとする地域活動者、障がい者施設の職員など様々な立場の人が参加され、市川さんがこれまで支援されてきた人達の事例をもとに、無戸籍に至る様々な事情、その背景にあるDV問題や複雑な家庭環境、実際の支援内容から戸籍取得後のことなどをお話され、皆さん熱心に耳を傾けられていました。

印象的だったのは、無戸籍の人でも義務教育の学校には行けることや保険証を作るなど公的な支援を受けることができる場合もあるということです。にもかかわらず、無戸籍の人自身や周りの人、行政の担当職員ですらそのことを知らないため、なかなか支援に至らないということがあります。まずは無戸籍の人がいること、その支援をおこなう団体があることを知り、困っている人がいたら支援につなげることができるようになればと思います。



三笠公民館での講座の様子

無戸籍でお困りの人、周りで気になる人がいればご相談ください

NPO法人 無戸籍の人を支援する会 URL:<http://mukoseki.com/> Mail:sodan@mukoseki.com

〒630-8113 奈良市法蓮町559-1 (株)いち屋 内 TEL 090-7026-6120 FAX 0742-93-4092

あなたも手話を学んでみませんか？

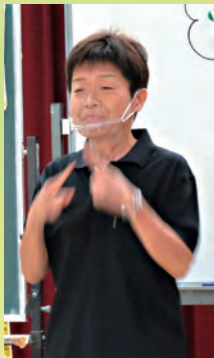
令和4年度
手話奉仕員養成入門講座
開講のお知らせ

まちで手話を見かけたり、テレビで手話通訳者を見る機会が増え、手話に関心を持たれた方もおられるのではないのでしょうか？奈良市総合福祉センターでは、初めて手話を学ぶ人を対象に「手話奉仕員養成入門講座」を開講しています。令和3年度は感染防止対策に努めながら開講しました。この講座は、挨拶や名前、趣味についてなど自己紹介で使う手話や、ろう者（きこえない方々の中で主に手話をコミュニケーション手段とする方）への伝え方を学びながら、聞こえないことで困る事や、ろう者の暮らしについても理解を深めていくものです。

講座の講師を担当されている奈良市聴覚障害者協会の方に手話や講座についてお話を伺いました。



大西 善子さん



岡嶋 耕子さん

【奈良市聴覚障害者協会 会長 大西 善子さん】

「奈良市手話言語条例」ができて2年になり、少しずつ手話の広まりを感じています。手話は身振りとは違います。手話は、皆さんが話されている日本語と同じ「言語」だということを理解して欲しいです。聞こえる人が手話を学ぶことで、ろう者と気持ちを伝えあえる、助けあえる社会が広がります。また入門講座で手話を学び、身近なところに手話のできる人が増えると私たちも安心です。そしてその中から、将来手話通訳者や手話通訳士をめざす人がでてきてくれることを期待しています。

【奈良市聴覚障害者協会 岡嶋 耕子さん】

講師として手話を楽しく学んでもらえるように工夫しました。受講者のみなさんが私の手話を一生懸命見て、熱心に学んでいる姿を見ると励みになります。入門講座修了後も手話を続けて、一緒に手話を広めていって欲しいです。

「奈良市手話言語条例」

「奈良市手話言語条例」は手話が言語であるとの認識を基本にして、すべての市民が共生できる地域社会をめざすことを目的とし、手話を使用しやすく、手話を使って安心して暮らすことができるまちをめざし平成31年に制定されました。



令和4年度の手話奉仕員養成入門講座（はじめてコース）は、6月から開講予定です。少しでも興味をお持ちの方はぜひお問合せください。※新型コロナウイルスの感染状況によって開講時期が変更となる場合があります。

奈良市総合福祉センター

奈良市左京5丁目3-1

TEL: 0742-71-0770

Mail: narawch@m3.kcn.ne.jp

FAX: 0742-71-0773



旗・幕・カップ・バッジ
株式会社 野崎商店

TEL.0742-23-1343 FAX.0742-27-3760

E-mail: hata@nozaki.net

HP 野崎旗 で検索！

相続対策・生前贈与

確定申告・相続税・資金調達
保険代理業務のご相談など

奈良の地で開業90年の実績。皆様さまざまな疑問・ご要望に「総合力」で誠実にお応えいたします。

TEL 0742-22-3578 FAX 0742-27-1681



税理士法人 森田会計事務所

サービス付き
高齢者向け住宅 **トゥインクルプラス 東生駒**
施設内見学受付中

全個室30室
入居時費用0円
月額利用料194,000円～
家具・管理費・生活支援
サービス費・食費の合計額

まずは、お気軽にお問い合わせください。Kns 介護・福祉・生活支援
見学・入居のご相談・
パンフレット請求は、**0743-71-9010**
生駒市東菜畑2丁目732番

令和4年度 ボランティア保険 のご案内

ボランティア保険が変わります！

ボランティア保険は、ボランティアでの活動や行事での事故やケガなどを補償する保険です。令和4年度から新たに新型コロナウイルスに対応した特定感染症重点プランが新設されます。

※令和3年度に加入された方は、補償期間が令和4年3月31日で終了しますのでご注意ください。

ボランティア活動保険 保険金額	基本プラン	天災・地震保障プラン	【新設】 特定感染症重点プラン
死亡保険金／後遺障害保険金	1,040万円／1,040万円（限度額）		
特 定 感 染 症	補償開始日から10日以内は補償対象外		初日から補償
年 間 保 険 料	350円	500円	550円

毎年度、加入の手続きが必要となりますので、令和4年度用の様式にてお申し込みください。

※ボランティア行事用保険では保険料の郵便窓口支払時に別途110円の手数料がかかります。

※社協の保険についてはお問合せください。

お問合せ・お申込みは、奈良市ボランティアセンター（法蓮町1702-1 ☎0742-26-2270）[ふくしの保険](#) [検索](#)
《社協事務所、鳥見デイサービスセンター「ふらっと」、都祁福祉センター、月ヶ瀬福祉センターでもお申込みいただけます。》

共同募金に ご協力いただき ありがとうございました!!



コロナ禍の中でも続けられている地域活動を支えるため、募金活動にご協力いただきました多くの皆様、関係団体の皆様に心よりお礼申し上げます。

皆様からお寄せいただいた寄付金は、誰もが安心して暮らせるまちづくりのため、地域で行われる様々な福祉活動や災害支援準備金に役立てられています。

令和3年度募金額（奈良市）

赤い羽根共同募金	15,380,320円
歳末たすけあい募金	1,602,279円

詳しい使いみちはホームページ「赤い羽根データベースはねっと」でご覧いただけます。

令和4年度 社協会員募集

奈良市社会福祉協議会では会員となって奈良市の地域福祉を応援して下さる方を募集しています。あなたも会員になって地域福祉の活動支援、担い手や居場所作りの事業を応援してみませんか？ぜひご協力をお願いいたします！

【会員の種類】（1年間の金額）

個人会員	1口	1,000円
団体・施設会員	1口	5,000円
賛助会員	1口	10,000円



問合せ先

総務課（杏町79-4 ☎0742-93-3100）
※各福祉センターや市役所分室でも受付しています。

ヨシケイキッチン!
福祉施設様向け宅食メニュー

朝昼夕3食セットで
629円（税別）
～
無料試食キャンペーン開催中!!
まずは下記フリーダイヤルまで

YOSHIOKE! ☎0120-074433

うつ病など精神疾患も対象です

障がい年金

- ・国の年金制度です ・原則20～64歳が対象
- ・病気やけがで日常生活が困難な方
- 精神、各種がん、身体、視聴覚・腎・肝・肺・心など

《無料相談受付中》 奈良市秋篠三和町1-9-7
090-8481-4867 あらき社労士事務所

住み慣れた地域で
必要な介護サービスが選べる

- 一般型デイサービス
- 認知症対応型デイサービス
- 小規模多機能型サービス
- グループホーム
- 介護相談センター

多機能複合型介護施設 ミック登美ヶ丘
奈良市押熊町2261（ならやま大通り ユニクロ駐車場南）
☎0742-40-2350 mic-tomigaoka.com

～あるヘルパーさんからの報告～

お店で買い物をしようとしたAさんと店員さんとのやり取りです。

Aさん：「これを下さい。」（1万円札で支払う。）

店員さん：「お釣りは千円札にしましょうか？」

Aさん：「ありがとうございます。千円札をお願いします。」

店員さん：（お釣りを渡し）「ありがとうございました。」



笑みを浮かべながら店を後にするAさんの横で、ヘルパーさんもととてもあたたかい気持ちになったそうです。

目の不自由な方は間違いやすいという理由から5千円札を嫌う方がいます。しかしお釣りをもらう際、店員さんからこのような提案は少なく、5千円札を混ぜてほしくない場合には「お釣りは全て千円札で下さい。」とお願いするのが一般的です。それなのに店員さんの方から声をかけてくれたので、Aさんはもちろんヘルパーさんまでもが、そのやさしさを嬉しく感じたのです。

きっとこの店員さんは、目の不自由な方と交流があり、困りごとなどをよく知っておられる方なのでしょう。

人と人との関わりの中で相手のことを理解すること。それは小さな思いやりの「たね」のようなものです。コロナ禍でさみしくなった世界にたくさんのたねがまかれ、1日も早くあたたかい花でいっぱいになりますように！

豆知識

お札の横の長さは
1万円札は160mm
5千円札は156mm
千円札は150mm
縦の長さ是一緒です。



編集 後記

コロナ禍において、様々な自粛を必要とする生活が続く今日、人や地域とつながり、近隣同士の何気ない会話や交流の場を持つことは、改めて大切なことと思います。新年度を迎え、コロナが収束しおだやかな社会情勢に戻ることを祈るばかりです。（編集委員H）

発行：社会福祉法人 奈良市社会福祉協議会 発行責任者：事務局長 濱田 真人
〒630-8454 奈良市杏町79番地の4 TEL: 0742-93-3100 FAX: 0742-61-0330
E-mail: hureai@narashi-shakyo.com URL: <http://www.narashi-shakyo.com>

奈良市社協 検索



ふくろう老人ホーム紹介

奈良、大阪、三重で
老人ホーム探しを失敗したくない方へ

☎0120-966-113
奈良市大宮町5丁目3-14 不動ビル4階406号

<https://fukuro-shokai.com/>

人間性豊かな「看護のプロ」を目指します

奈良県医師会看護専門学校

3年課程 全日制

入試情報、オープンキャンパスについては
ホームページをご覧ください。

ネットで <http://www.nik.ac.jp> 検索

〒634-8502 橿原市内膳町5-5-8
TEL 0744-22-3430（お問い合わせ）

**福祉車両のレンタカー
お気軽にご用命ください**

軽自動車 ¥4,400/1日
普通車 ¥9,900/1日
営業時間 9時～19時

社団法人 日本福祉車両会
Japan welfare vehicle association
<http://www.24mirai.com/>

ガラクジュ

奈良市北之庄西町1丁目11-3 TEL: 0742-61-5662（すずき）

**わたしたちにできること それは、
快適な生活を提供すること**

保険のことならわたしたちにご相談ください

MS関西株式会社奈良支店

TEL: 0742-35-6090
〒630-8115 奈良市大宮町3-4-29 大宮西ビル6F

安心・安全・快適な
施設づくり・住まいづくりを
関西施設株式会社

〒636-0212
奈良県磯城郡三宅町石見523-50
TEL 0745-60-3163
FAX 0745-60-3168
<http://kansaisetsu.com/>

親なきあと相談 実施中

当窓口では、定期・不定期のセミナーやイベント・個別・出張相談を行っています。詳しくは、当窓口のホームページをご覧ください。

あかるいみらい準備室

障がいやひきこもりの子がいる
親・ご家族の「親亡きあと」
「老い支度」の相談窓口

あかるいみらい準備室 検索

相談無料・秘密厳守

☎050-3579-1642 FAX: 0742-30-6361
奈良市法華寺町1-5 奈良バイパスビル2階 E-mail: coyanakiato@akarui-mirai.net